

| 教育的価値   | 具 体 の 項 目                                                                                                                                                                                            | 教育課程   |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 2【かかわる】 | ⑨【仲間や地域の人々とのつながり】⑬【地域づくり】⑭【復旧・復興へのあゆみ】<br>・地域の人材を積極的に活用して地域の自然や文化について学習し、地域のよさに気づき温かいつながりのある社会を願いながら地域づくりにかかわろうとする心を育てる。<br>・学校間交流を通し、震災津波の被害を見聞するとともに、異なる環境ではあるが、同じ小学生として日々の学校生活を前向きにがんばっていることに気付く。 | 教育課程全般 |

【題材】「地域の自然・伝統と学校間交流」

【対象】全学年

【実践の概要・詳細】

### 地域の自然・伝統とのかかわり

#### ねらい

- ・ 学校の特徴を生かしながら、学校教育計画全体に復興教育を位置付けて展開し、郷土を愛し将来の郷土を支える人材を育成する。

#### 自然保護活動

- 5月 9日（金）カタクリ祭り参加・自然観察  
 6月26日（木）カタクリの救出（移植活動）  
 9月19日（金）和賀川水生生物調査活動  
 10月14日（火）森林学習（樹木の観察と森林のはたらきの学習）

#### 伝統芸能（沢内甚句）の伝承

- 5月12日（月）歌・太鼓練習  
 5月15日（木）歌・太鼓練習・踊り練習  
 5月16日（金）太鼓練習  
 5月19日（月）～歌・太鼓練習  
 5月20日（火）全校踊り練習  
 5月27日（火）PTA 踊り講習会  
 5月31日（土）運動会にて、地域の方々とともに発表  
 10月31日（金）小中音楽発表会にて、ステージ発表



#### 工事からカタクリ守れ



西和賀町沢内の沢内小盛島児童、児童16人の3年生2人は26日、同町沢内の道路改良工事現場からカタクリの球根を学校敷地内の林に移植し

西和賀町沢内小

た。カタクリ雪地に春の訪れ児童たちは喜ぶ

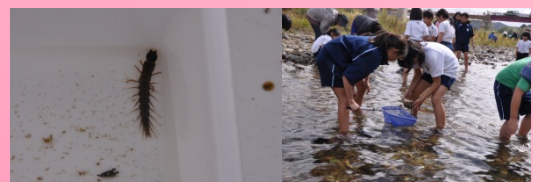
#### 学校敷地に移植



「小さな親切」実行章が贈られた沢内小の3年生

#### カタクリを保護

小さな親切 沢内小3年生に実行章



## 吉里吉里小学校との交流

### ねらい

- 被災地の現状や、復興へ力強く歩みだそうとしている人々の思いに気付くことで、自分にできることを進んでやり、人のために役立とうとする意欲を育てる。

### 活動の実際

#### 事前指導

- 交流のめあてをもつ。
- 大槌町について調べる。
- 交流の留意点を知る。(目的、移動時、交流時等)
- 吉里吉里小児童への手紙を書く。



#### 交流

- 給食を一緒に食べながら交流する。
- 手紙を交換する。
- 一緒に遊ぶ。
- 被災の実際を知る。(地元の方から被災時の話を当時の写真を見ながら説明していただく)
- 復興の様子をバスに乗車し、実際に見て回る。



#### 事後指導

- 交流を振り返る。
- ↓
- ① 交流しての感想
- ② 大槌町の様子
- ③ 自分にできることは？

最終的には、グループ毎に体験してきたことをまとめ、模造紙新聞を作成する。



### 児童の感想

友だちもすぐにできてうれしかったです。一輪車の乗り方を教えてくれてとてもうれしかったです。11月にまた会うので、その日を楽しみにしています。家は少しずつ建ってきていたけど、小学校も中学校もみんな新しくつくって、吉里吉里海岸の砂もみんな流されて、千年に一度の大地震大津波がきて、被害にあった人は大変苦労したのが分かりました。大人になったら、りっぱな防潮堤をつくりたいです。高校生になったら、時がたった大槌を訪れたいです。中学生になったら、震災の中みを勉強したいです。今は、吉里吉里小との交流で震災に泣いた人たちを元気にし、安心させるために応援のメッセージや手紙、歌で励まし、大津波のことから守ってあげたいです。

### まとめ

- 児童は、美しい自然の中に育っているが、その良さを実感しているかといえば、必ずしもそうではない。実際に自然に触れる活動を通し、その良さを自覚するとともに、自然の美しさを守る活動の大切さを理解することができた。
- これまでずっと伝えられてきた郷土芸能を覚えることで、今後は自分達がそれを伝える役を担う意識と、様々な方々と関わる良さを自覚することができた。
- 環境が異なる学校間の交流を通し、様々な困難を克服し、前向きに活動するすばらしさを感じることができたとともに、今後も様々なことに関わっていこうとする意識を高めることができた。



